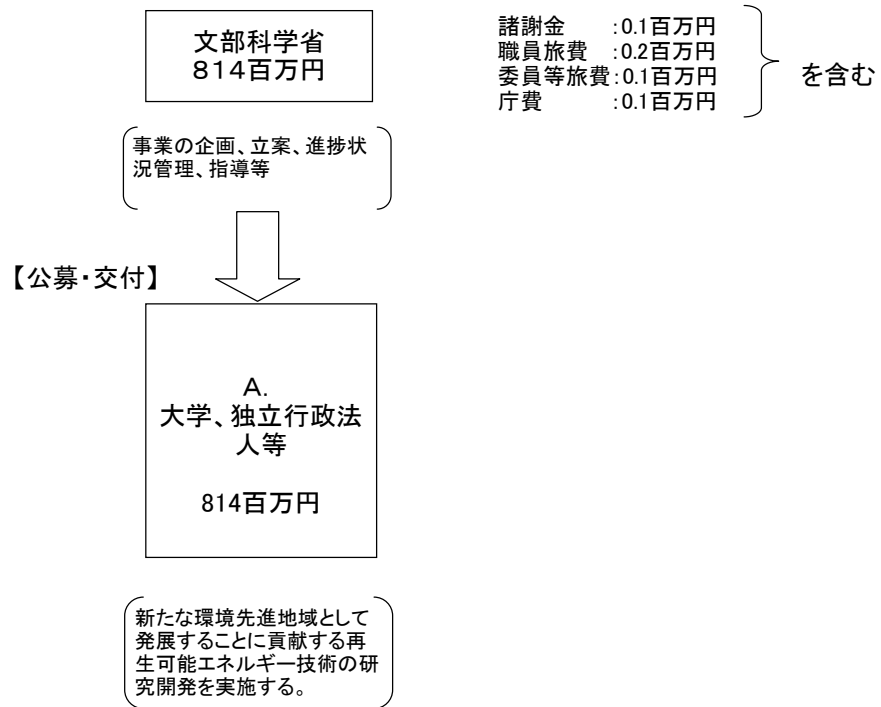


平成24年行政事業レビューシート（復興庁・文部科学省）

事業名	東北復興のためのクリーンエネルギー研究開発推進		担当部局庁	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成28年度		担当課室	環境エネルギー課		復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 尾関 良夫 文部科学省研究開発局環境エネルギー課長 篠崎 資志		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名					
根拠法令(具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)に基づき、東日本大震災により被災した東北の復興と、東北の潜在力を活かした技術革新による日本全体の再生を目指し、東北の風土・地域性等を考慮し、将来的に事業化・実用化され、新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の研究開発を実施する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①被災地へのスマートエネルギーシステムの導入や環境先進地域としての復興、②再生可能エネルギーに関する革新的研究開発を実現し、東北地方の復興と我が国のエネルギー問題を克服するため、先進的なエネルギー技術の研究開発を推進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算				814	814	
		補正予算				0		
		繰越し等				0		
		計				814	814	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	被災地域が新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術を創出すること		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研究開発課題数		活動実績(当初見込み)					—
					()	()		3
単位当たりコスト	271百万円/研究開発課題		算出根拠	平成24年度予算額(814百万円)÷研究開発課題数(3課題)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	科学技術振興謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	科学技術振興職員旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	科学技術振興委員等旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	科学技術振興庁費	0.1百万円	0.1百万円					
	環境技術等研究開発推進事業費補助金	813.5百万円	813.5百万円					
計	814百万円	814百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災からの復興の基本方針に基づき、被災地域の環境先進地域としての復興を実現するために実施する事業であり、国が実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業を実施する研究機関は、外部有識者により構成される審査会を経て、委託先も含めて、企画競争により選定を行うこととしており、競争性は確保されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業を効果的かつ効率的に実施するため、文部科学省に外部有識者からなる「東北復興のためのクリーンエネルギー研究開発推進委員会」を設置し、事業推進に関する検討、助言等を行うこととしており、実効性の高い事業となっている。 東北の風土・地域性等を考慮し、将来的に事業化・実用化され、新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術を創出することを成果目標としている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 農山漁村におけるバイオ燃料等生産基地創造のための技術開発（農林水産省技術会議事務局研究開発官（環境）室） 戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業（資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課）	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> 被災地域の環境先進地域としての復興を実現することを目的として、東日本大震災からの復興の基本方針に基づき実施するものである。 事業を効果的かつ効率的に実施するため、文部科学省に外部有識者からなる「東北復興のためのクリーンエネルギー研究開発推進委員会」を設置し、事業推進に関する検討、助言等を行うこととしており、実効性の高い事業となっている。 外部有識者で構成される審査委員会において、実施機関を選定することとしており、競争性は確保されている。 	
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>東日本大震災からの復興の基本方針 http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※ 当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.大学、独立行政法人等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
環境技術等研究開発事業費	大学、独立行政法人等研究費	814			
計		814	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					